

# 7月7日（木）防災士

「防災士」というのを、知っていますか。防災訓練を行ったり、防災についての話をしたり、避難訓練のリーダーをしたりする人です。地域を守る大事な人のことです。この「防災士」



の試験に、**広島県の小学6年生**、大橋潤さんが合格しました。

潤さんが小学2年生だった7月6日の夜。大雨が降り、警戒アラートが鳴り続けました。「友だちのマンションも水につかって、まさか**自分の住んでる近くが沈む**とは思っていなかった」。学校は浸水被害などを受けた住民の避難所になり、一番上の兄の同級生は土砂崩れに巻き込まれて亡くなった。

お父さんが防災士の資格を取ったことを知り、潤さんは兄弟で資格試験に挑戦しました。370ページに及ぶ防災士教本を読んで勉強して、2回目で合格したそうです。

小学生でも、**地域を守るために**こんなに**本気**でがんばる子がいることに、驚きますね。